

授 業 計 画

No.1

授業科目	就職講座		担当教員	佐藤 謙太	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	前期のビジネス講座を基盤として、いよいよ就職活動に必要な、正しい履歴書の書き方や面接スキル向上を重点に就職対策を行います。自分をしっかり表現できる自己PR・志望動機などを段階的に整理をして、履歴書やエントリーシートをしっかりと記述できるようにモチベーションを上げていきます。						
評価方法	成績評価	期末試験及び平常授業の取り組み姿勢、出席状況、提出課題の総合成績で評価する					
	評価割合	試験	60 %	課題	0 %	他	40 %
教科書	就職テキスト			副教材および参考文献		映像資料(専門学校の就職ガイド)とプリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	就職活動の心構え①	就職活動そのものや働く意義や心構えを伝える。
第2回	就職活動の心構え②	企業の求める人材。身だしなみのポイント。
第3回	履歴書とエントリーポイント	履歴書、エントリーシートの書き方を解説する。
第4回	面接練習①	面接の重要さと種類の解説をする。PREP法。
第5回	履歴書記入と写真撮影(予定)	履歴書記入と就職用写真の撮影
第6回	面接練習②	面接ロールプレイ
第7回	面接練習③	面接ロールプレイ
第8回	面接練習④	面接ロールプレイ
第9回	面接練習⑤	面接ロールプレイ 以降2チームに分かれて面接練習
第10回	面接練習⑥	面接ロールプレイ
第11回	面接練習⑦	面接ロールプレイ
第12回	面接練習⑧	面接ロールプレイ
第13回	面接練習⑨	面接ロールプレイ
第14回	面接練習⑩	面接ロールプレイ
第15回	面接練習⑪	面接ロールプレイ
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	建築計画各論		担当教員	木村 裕安	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、二級建築士試験学科 I 計画の建築計画各論の分野、後半部分を学習する。具体的には商業施設、社会施設、及び文化施設に関して、特にその分類や特徴、並びに細部計画についてを学習する。各施設の有名建築を建築史的見地からも紹介する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	50 %	課題	30 %	他	20 %
教科書	やさしい建築計画(学芸出版社)		副教材および参考文献		「2級建築士絶対合格」シリーズ学科 I 計画		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス	シラバスの説明・エスキース問題 (プラン練習①)
第2回	幼稚園・保育所の計画	幼稚園・保育所建築の分類とその特徴、及び細部計画
第3回	図書館の計画1	図書館の分類とその特徴、及び細部計画1
第4回	図書館の計画2	図書館の分類とその特徴、及び細部計画2
第5回	美術館・博物館の計画	美術館・博物館の分類と特徴、及び細部計画
第6回	劇場・映画館の計画1	シアター、ムービーの分類と特徴、及び細部計画1
第7回	劇場・映画館の計画2	シアター、ムービーの分類と特徴、及び細部計画2 (プラン練習②)
第8回	事務所の計画1	レントブル比・コアタイプ・貸事務所について
第9回	事務所の計画2	机の配置計画・エレベーター計画について
第10回	ホテル・寄宿舎の計画	ホテル、寄宿舎の分類と特徴、及び細部計画
第11回	病院・診療所の計画	病院・診療所の分類とその特徴、及び細部計画
第12回	店舗・百貨店の計画	店舗建築の分類とその特徴、及び細部計画
第13回	コミュニティ施設・高齢者施設	コミュニティ施設・老人福祉施設の分類と特徴、及び細部計画
第14回	駐車施設・スポーツ関連施設	駐車場・駐輪場・スポーツ施設の分類と特徴、及び細部計画
第15回	期末試験対策	期末試験の範囲の確認、過去問の演習
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	建築史		担当教員	亀田 無限	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、2級建築士学科試験の学科 I「計画」の建築史の範囲を軸に学習する。学習内容は、古代から現代までの日本・西洋建築について、様式・作品・作家名など建築を学ぶ学生として知っておくべき必要かつ常識的な知識を学ぶことを目的とする。実際の建築を訪れることが一番ではあるが、その重要性や知識の定着を図るため、映像や画像を多用し、建築巡礼をするような授業を目標とする。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	20 %	他	10 %
教科書	なし			副教材および 参考文献		配布プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス	建築巡礼のススメ
第2回	建築史年表	古代から現代までの日本、西洋各々の建築の流れ
第3回	西洋建築史-1(古代)	エジプト・ギリシャ・ローマ建築
第4回	西洋建築史-2(中世)	初期キリスト・ビザンチン・イスラム・ロマネスク・ゴシック建築
第5回	西洋建築史-3(近世)	ルネサンス・バロック・ロココ建築、ネオクラシズム・ロマン主義
第6回	西洋建築史-4(近代1)	アーツ&クラフツ、ゼツセッション、アールヌーヴォー、アールデコ
第7回	日本建築史-1(古代)	古代、飛鳥、奈良、平安時代の建築様式
第8回	日本建築史-2(中世)	鎌倉、室町、桃山時代の建築様式
第9回	日本建築史-3(近世)	江戸時代の建築、霊廟建築、住宅建築について
第10回	日本建築史-4(近代2)	明治、大正、昭和の建築
第11回	西洋建築史-5(近代3)	近代建築の発展と普及
第12回	西洋建築史-6(近代4)	巨匠(建築家)の作品
第13回	日本建築史-5(現代1)	戦後の公共建築、現代の住宅建築について
第14回	日本建築史-6(現代2)	歴史的建築物の保全と活用
第15回	日本建築史-7(現代3)	まとめ
第16回	期末試験	期末テストの実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	建築設備		担当教員	内田 浩	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は二級建築士試験学科 I 計画の設備分野の後半に当たり、その基礎力を身に付ける。設備は、専門用語、専門知識、及びデータを多用すると捉えられ、学生が苦手、不得意意識を持ちやすい。従って、噛んで含んだ授業を心掛ける。最終目標は、11月に行われる二級建築施工管理技術検定の建築学共通分野に出題される問題を正答でき、この資格が取得できるまでにする。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	20 %	他	20 %
教科書	インテリアコーディネーター1次試験合格教本下巻10版 (ハウジングエージェンシー)		副教材および参考文献		オリジナルプリント		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	オリエンテーション・ガイダンス	学習目的、学習日程、学習内容、成績評価等
第2回	設備 I の総復習	浴室設備、洗面器と洗面台
第3回	水栓金具、トイレ設備	混合水洗の種類、水洗金具の付加機能
第4回	トイレ用設備、自然エネルギーの利用	便器の給水方式、洗浄方式、便器の機能、自然エネルギー-暖房・給湯システム
第5回	設備教養映像	”革命トイレ、市場を制す”
第6回	続・自然エネルギーの利用	太陽光発電システム、地中熱利用等
第7回	その他の設備機器	搬送設備、情報設備機器、次世代設備
第8回	照明の基礎	照明に関する単位、色温度、演色性、グレア、輝度等
第9回	光源に関して	光源の分類学(白熱ランプ、蛍光ランプ、HIDランプ、LED、水銀灯、ナトリウムランプ)
第10回	照明器具	天井付け照明器具、壁付け照明器具、屋外用照明器具等
第11回	照明計画の基礎、設備教養映像	配光曲線、照明方式、照明計算、“妻に贈ったダイニングキッチン”
第12回	照明計算・照明レイアウト	照明計算、照度の推奨値、建築化照明、照明レイアウト
第13回	設備に関する法規	消防法、住宅用火災報知機、CASBEE、低炭素建築物認定制度
第14回	消費者関連法規	製品安全四法、JIS・JAS、PL法、環境・省エネに関する法
第15回	品質表示マーク	伝統マーク、SGマーク、PSEマーク、Gマーク、BLマーク、Eコマース等
第16回	期末試験	期末試験実施、監督

授 業 計 画

No.1

授業科目	建築法規 I		担当教員	湯浅 誠	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、2級建築士学科試験の1科目として、また建築物を計画する上で法規の知識が必要だということを理解する。また、建築法規に出てくる項目がどのようなものなのか概要を理解する。特に建築基準法の集団規定の部分を学習する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	20 %	他	10 %
教科書	図解 やさしい建築法規 建築関係法令集			副教材および 参考文献		オリジナルプリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス・集団規定・道路	集団規定の適用範囲、道路の定義、道路関係規定
第2回	用途地域制限	用途地域制限概要、種類、表の見方
第3回	容積率制限	容積率、制限内容、許容容積、計算方法
第4回	建ぺい率制限	建ぺい率、制限内容、許容建築面積、計算方法
第5回	容積率制限・建ぺい率制限	演習問題・解説
第6回	高さ制限 I (概要)	種類、制限概要
第7回	高さ制限 II	道路、緩和規定の一部
第8回	高さ制限 III	北側・隣地斜線制限・緩和規定の一部
第9回	防火指定による構造制限	目的・防火地域・準防火地域内の建築物の制限
第10回	特殊建築物による防火上の構造制限	耐火、準耐火建築物の必要性
第11回	避難施設	避難経路、直通階段
第12回	避難施設	排煙設備、非常用照明装置、非常用の進入口等
第13回	内装制限	内装制限概要、制限を受ける建築物、その仕上げ
第14回	仮設建築物の緩和・工事現場の安全管理	応急仮設建築物や現場事務所等の既定・仮囲い、根切り、山留め等の規定
第15回	総復習	第1回～14回までの総復習
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	構造力学 I		担当教員	亀田 無限	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、構造力学の基礎を学ぶ。建築物を構成する柱や梁に生じる応力について学習し、前期で学んだ反力計算を基に、応力計算ができるようになることを目的とする。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	10 %	他	20 %
教科書	わかる！建築構造力学 オーム社			副教材および参考文献		配布プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、前期の復習	ガイダンス、反力計算の復習
第2回	ラーメンの反力計算-1	単純梁ラーメン、片持ち梁ラーメンの反力計算
第3回	ラーメンの反力計算-2	スリーヒンジ(3ピン)ラーメンの反力計算
第4回	応力について	応力の種類
第5回	梁の応力計算-1	片持ち梁の応力、応力図の見方と描き方
第6回	梁の応力計算-2	単純梁の応力、応力図の見方と描き方
第7回	梁の応力計算-3	いろいろな荷重が作用する梁の応力、応力図の見方と描き方1
第8回	梁の応力計算-4	いろいろな荷重が作用する梁の応力、応力図の見方と描き方2
第9回	梁の応力計算-5	いろいろな荷重が作用する梁の応力、応力図の見方と描き方3
第10回	ラーメンの応力計算-1	片持ちラーメンの応力、応力図の見方と描き方
第11回	ラーメンの応力計算-2	単純梁ラーメンの応力、応力図の見方と描き方
第12回	ラーメンの応力計算-3	スリーヒンジ(3ピン)ラーメンの応力、応力図の見方と描き方
第13回	ラーメンの応力計算-4	いろいろな荷重が作用するラーメンの応力、応力図の見方と描き方1
第14回	ラーメンの応力計算-5	いろいろな荷重が作用するラーメンの応力、応力図の見方と描き方2
第15回	テスト対策	演習問題
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	建築材料		担当教員	内田 浩	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	構造用材料から仕上用材料までという、幅広い建築材料であるが、用途を間違えば大事故も発生する。また地球環境に対する影響や耐震性・耐久性・美観など、さまざまな角度からの検討が必要である。この科目では建築材料を使い分けるために知っておくべき基本的性能・要求性能などの基礎を学ぶ。二級建築士試験の「建築構造」と「建築施工」合格レベルを目指す。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	20 %	他	10 %
教科書	図説 やさしい建築材料			副教材および参考文献		オリジナルプリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス: 建築と材料	さまざまな建築材料学習へのアプローチ
第2回	木材(1)	日本建築と木材・木材の種類、特徴と強度
第3回	木材(2)	木材の構造と水分の影響
第4回	木材(3)	木取り、規格と等級
第5回	木材(4)	エンジニアリングウッド
第6回	コンクリート(1)	コンクリートとセメント
第7回	コンクリート(2)	骨材と水、混和材料
第8回	コンクリート(3)	コンクリートの性質
第9回	コンクリート(4)	コンクリートの配合と種類、コンクリート製品
第10回	鋼材(1)	鋼材の歴史
第11回	鋼材(2)	鋼材の種類と特徴(1)
第12回	鋼材(3)	鋼材の種類と特徴(2)
第13回	鋼材(4)	鋼材の腐食と防食、規格
第14回	鋼材(5)	非鉄金属
第15回	まとめ	これまで全体のまとめ
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	建築施工		担当教員	加藤 貴久	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、2級建築士・2級建築施工管理技術検定合格を目標とし、そのための基礎知識の習得をねらいとする。建築施工Ⅰ後期では、鉄筋コンクリート工事・鉄骨工事・コンクリートブロック工事・木工事までの主な現場作業の流れ・工法等を学習する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	20 %	他	0 %
教科書	図説 やさしい建築施工			副教材および参考文献		配布プリント及びスライド	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	鉄筋コンクリート工事①	鉄筋工事(鉄筋の材料 加工 組立)
第2回	鉄筋コンクリート工事②	鉄筋工事(鉄筋の組立 あき かぶり スペース)
第3回	鉄筋コンクリート工事③	鉄筋・圧接工事(鉄筋の定着 継手 圧接 特殊継手)
第4回	鉄筋コンクリート工事④	鉄筋工事・型枠工事(鉄筋工事まとめ 型枠の材料)
第5回	鉄筋コンクリート工事⑤	型枠工事(型枠の組立 解体)
第6回	鉄筋コンクリート工事⑥	コンクリート工事(コンクリートの材料 種類)
第7回	鉄筋コンクリート工事⑦	コンクリート工事(コンクリートの受入検査)
第8回	鉄筋コンクリート工事⑧	コンクリート工事(コンクリートの打設 養生 欠陥)
第9回	鉄筋コンクリート工事⑨	コンクリート工事(コンクリートのひび割れ対策・まとめ)
第10回	鉄骨工事①	工場作業(鉄骨材料 溶接接合 塗装)
第11回	鉄骨工事②	現場作業(アンカーボルト ベース仕上)
第12回	コンクリートブロック工事	ブロックの材料 帳壁 コンクリートブロック塀
第13回	木工事①	木造在来軸組工法 (材料 接合金物)
第14回	木工事②	木造在来軸組工法 (継手 仕口 軸組 小屋組 床組)
第15回	木工事③	木造在来軸組工法 (造作工事) 枠組壁工法の特徴
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	測量概論		担当教員	内田 浩	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、建築施工分野に位置する測量学の基礎知識を学習する。測量用語・測量数学の基本的なことから、国家資格である測量士補の問題解説まで行う。測量学の基礎知識を学んだ上で、富士教育訓練センターでの測量実習に備える。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	20 %	他	0 %
教科書	測量士補 合格ガイド			副教材および参考文献		配布プリント及びスライド	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	測量用語の復習	測量士補試験について 2級建築士の測量問題
第2回	測量数学の基礎	角度換算 近似値 重量平均による最確値
第3回	測量士補(第1章)	測量法と測量の基準 問題解説
第4回	測量士補(第1章)	測量法と測量の基準 問題解説
第5回	測量士補(第2章)	水準測量 問題解説
第6回	測量士補(第2章)	水準測量 問題解説
第7回	測量士補(第3章)	多角測量 問題解説
第8回	測量士補(第3章)	多角測量 問題解説
第9回	測量士補(第4章)	地形測量 問題解説
第10回	測量士補(第4章)	地形測量 問題解説
第11回	測量士補(第5章)	写真測量 問題解説
第12回	測量士補(第5章)	写真測量 問題解説
第13回	測量士補(第6章)	地図編集 問題解説
第14回	測量士補(第6章)	地図編集 問題解説
第15回	測量士補(第6章) 試験対策	地図編集 問題解説 試験範囲確認
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	建築設計製図		担当教員	宍倉 良太	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	演習	単位数	2

授業概要	この科目は、建物を造る上で必要となる建築図面の描き方の基本を学習する。前期に続き線の引き方・製図文字・レイアウトの仕方・木造図面の描き方、特に床伏図や小屋伏図等の構造図の描き方を学ぶ。また、鉄筋コンクリート造の平面記号から配置平面図・断面図等、1通りの基本図面を描くことで、構造体と内装仕上げの関係を理解する。						
評価方法	成績評価	課題の評価に出席点の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	90 %	他	10 %
教科書	2019 2級建築士試験設計製図テキスト			副教材および参考文献		方眼紙	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、木造の構造図	木造の構造図 2階床伏図説明 レイアウト
第2回	図面No.7 2階床伏図兼1階小屋伏図(1)	壁の中心線、通し柱、2階壁、2階管柱、1階壁、1階管柱
第3回	図面No.7 2階床伏図兼1階小屋伏図(2)	小屋梁、2階床梁
第4回	図面No.7 2階床伏図兼1階小屋伏図(3)	小屋伏図の説明、棟木、母屋、小屋束、火打梁
第5回	図面No.7 2階床伏図兼1階小屋伏図(4)	凡例、部材寸法、寸法、図面修正
第6回	RC造の解説、エスキース	柱スパン、各部の寸法、構造計画、配置計画と外部動線、エスキース
第7回	図面No.8 RC造1階平面図兼配置図(1)	レイアウト、敷地、柱の中心線、寸法、柱、壁等
第8回	図面No.8 RC造1階平面図兼配置図(2)	内壁の中心線、内壁の下描き、建具スルーライン等、
第9回	図面No.8 RC造1階平面図兼配置図(3)	壁の本描き、建具、階段、室名、断面図の切断位置
第10回	図面No.8 RC造1階平面図兼配置図(4)	家具、設備機器、寸法
第11回	図面No.8 RC造1階平面図兼配置図(5)	各種目地、外構、植栽、図面修正
第12回	図面No.9 RC造2,3階平面図(1)	柱・内壁の中心線、寸法、柱、内壁の下描き
第13回	図面No.9 RC造2,3階平面図(2)	建具スルーライン、壁の本描き、建具、階段
第14回	図面No.9 RC造2,3階平面図(3)	室名、断面図の切断位置、家具、設備機器、庇等
第15回	図面No.9 RC造2,3階平面図(4)	寸法等、図面修正
第16回	図面No.10 RC造Y-Y'断面図(1)	基準線、外等の下描き、躯体線(横・縦)

	講義計画	実施細目
第17回	図面No.10 RC造Y-Y'断面図(2)	内壁の下描き、内部仕上げ(横・縦)、室名
第18回	図面No.10 RC造Y-Y'断面図(3)	寸法等、見え掛かり(外部・開口部)、図面修正
第19回	図面No.10 RC造X-X'断面図(1)	Y-Y'断面図の作図方法で、X-X'断面を作図する
第20回	図面No.10 RC造X-X'断面図(2)	Y-Y'断面図の作図方法で、X-X'断面を作図する
第21回	図面No.10 RC造X-X'断面図(3)	Y-Y'断面図の作図方法で、X-X'断面を作図する
第22回	図面No.11 RC造南側立面図(1)	基準線、柱の下描き、パラペット等、外壁線
第23回	図面No.11 RC造南側立面図(2)	窓、庇、目地
第24回	図面No.11 RC造南側立面図(3)	寸法、文字、図面修正
第25回	図面No.11 RC造東側立面図(1)	南側立面図の作成方法で、東側立面を作図する
第26回	図面No.11 RC造東側立面図(2)	南側立面図の作成方法で、東側立面を作図する
第27回	図面No.12 RC造基礎・1階床部分詳細(1)	基準線、寸法、躯体線(横・縦)、仕上げ線(横)
第28回	図面No.12 RC造基礎・1階床部分詳細(2)	仕上げ線(縦)、寸法、文字、、仕上げ等、図面修正
第29回	図面No.12 RC造2,3階床部分詳細(1)	基準線、寸法、躯体線(横・縦)、仕上げ線(横)
第30回	図面No.12 RC造2,3階床部分詳細(2)	仕上げ線(縦)、寸法、文字、仕上げ等、図面修正
第31回	図面No.12 RC造屋根部分詳細(1)	基準線、寸法、躯体線(横・縦)、仕上げ線(横)
第32回	図面No.12 RC造屋根部分詳細(2)	仕上げ線(縦)、寸法、文字、仕上げ等、図面修正

授 業 計 画

No.1

授業科目	CAD演習		担当教員	加藤 貴久	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	演習	単位数	2

授業概要	この科目はフリーウェアという特色から多くの企業で導入が進んでいるJW_CADの操作を学ぶ。一通りのコマンド練習を覚えた後は、施工図を題材とした演習を行い、レイヤ分けの管理の仕方や、図面表現のバリエーションを学習する。合わせてインターネットを活用し、コマンドや部品をダウンロードするテクニックを学習する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	100 %	他	0 %
教科書	なし			副教材および 参考文献	配布プリント及びデータ		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス コマンド練習①	プログラムインストール 画面操作 線の練習
第2回	コマンド練習②	消去・矩形・円・2線
第3回	コマンド練習③	コーナー処理・伸縮・複線・移動・文字入力
第4回	コマンド練習④	文字編集・測定・寸法
第5回	演習①図枠作成	図枠の作成 印刷の仕方
第6回	演習②杭伏図1	レイヤ分けについて 通り芯
第7回	演習②杭伏図2	杭芯線 杭ライン
第8回	演習②杭伏図3	文字 寸法
第9回	演習②杭伏図4	杭実測表 杭仕様
第10回	演習③基礎伏図1	通り芯 基礎ライン
第11回	演習③基礎伏図2	躯体ライン(地柱・地中梁)
第12回	演習③基礎伏図3	躯体ライン アンカーボルト 文字
第13回	演習③基礎伏図4	文字 寸法 ソリッド
第14回	演習③基礎伏図5	構造記号 仕上げ
第15回	演習④基礎断面図1	通り芯 基礎ライン
第16回	演習④基礎断面図2	躯体ライン(地柱・地中梁)

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	演習④基礎断面図3	躯体ライン アンカーボルト
第18回	演習④基礎断面図4	文字 寸法
第19回	演習④基礎断面図5	寸法 ハッチング ソリッド 修正
第20回	演習⑤外部足場計画図1	通り芯 DXFファイルからの取込み
第21回	演習⑤外部足場計画図2	足場ライン(建枠・作業床)
第22回	演習⑤外部足場計画図3	仮設 外変コマンド 文字
第23回	演習⑤外部足場計画図4	寸法 方位 ソリッド
第24回	演習⑥外部足場立面図1	通り芯 足場ライン
第25回	演習⑥外部足場立面図2	足場ライン(建地・作業床)
第26回	演習⑥外部足場立面図3	EV 階段 壁つなぎ
第27回	演習⑥外部足場立面図4	寸法 グラデーション
第28回	演習⑦総合仮設計画図1	通り芯 仮設物
第29回	演習⑦総合仮設計画図2	重機CADデータダウンロード 編集
第30回	演習⑦総合仮設計画図3	図形コマンド MAP取込み 画像貼付
第31回	演習⑦総合仮設計画図4	文字 画像編集 添景 検図
第32回	応用コマンド解説	2. 5Dコマンドの練習課題

授 業 計 画

No.1

授業科目	施工実習		担当教員	加藤 貴久	クラス	建築設計科1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この科目は、職業実践専門課程の一環として、建築生産分野の職業体験を行う。内容としては、測量実習(レベル・トータルステーション)・鉄筋の結束・鉄筋の圧接・足場の組立である。現場経験豊富な教官の講義から理論を学び、体を使った実習を通して、より実践的な建築知識を身につける。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	80 %	他	20 %
教科書	なし			副教材および参考文献		配布資料等	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	事前学習	富士教育訓練センターでの実習のあらかし 事前確認事項
第2回	測量学講義	水準測量について トータルステーションについて
第3回	仮設足場講義	枠組足場の名称と組み方 工具の使い方
第4回	鉄筋工事講義	鉄筋の特徴 結束の仕方 圧接の理論
第5回	工事現場の安全	KYミーティング 指差呼称 朝礼のルール
第6回	測量実習①	レベルとスタッフを使用した水準測量実習
第7回	測量実習②	トータルステーションの据え付け実習 距離測定
第8回	足場組実習①	枠組足場組 1段目の施工
第9回	足場組実習②	枠組足場組 2, 3段目の施工 足場解体作業
第10回	鉄筋の結束①	スラブ上での墨出し モチアミ配筋作業
第11回	鉄筋の結束②	梁配筋 スペーサーセット 梁型枠の組立・解体
第12回	鉄筋の圧接①	鉄筋のガス溶断 梁主筋の圧接作業
第13回	鉄筋の圧接②	梁主筋の圧接部の曲げ試験
第14回	コンクリート工事①	フレッシュコンクリートの練混ぜ スランプ試験
第15回	コンクリート工事②	コンクリート圧縮試験 鉄筋の引張試験
第16回	施工実習の振り返り	イベント館の内装実習棟の見学 振り返り作文作成

授 業 計 画

No.1

授業科目	建築計画各論		担当教員	川名 和雄	クラス	建築設計科2年	
期別	前期	履修コマ数	3 コマ/週	授業形態	講義	単位数	6

授業概要	この科目は、店舗・商業施設の設計に関わる基礎を学習する。卒業制作を睨んで、決められた条件の中で商業施設を自ら考える。RC造の基本的な構造、設備を理解した上で、平面機能はもちろんの事、スタディ模型を作成し立体的な空間認識力を高める。それに伴い各図面等も作成する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	100 %	他	0 %
教科書	なし			副教材および参考文献		お店の解剖図鑑	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス・オリエンテーション	学習内容、日程、評価、課題説明
第2回	計画 1	ホテルロビーの平面計画、各寸法、仕上げ材
第3回	スタディ模型作成 1	1/50スケールでのスタディ模型作成(壁・柱等)
第4回	スタディ模型作成 2	1/50スケールでのスタディ模型作成(家具等) 空間の把握をする
第5回	スタディ模型作成 3	1/50スケールでのスタディ模型作成(家具等) 空間の把握をする
第6回	スタディ模型作成 4	1/50スケールでのスタディ模型作成(家具等) 空間の把握をする
第7回	プラン作成 1	ゾーニング
第8回	プラン作成 2	エスキース①(各所要スペースの検討)
第9回	プラン作成 3	エスキース②(家具等の検討)
第10回	プラン作成 4	エスキース③(図面作成)
第11回	プラン作成 5	エスキース④(立体の検討)
第12回	家具リスト作成 1	各家具の下描き
第13回	家具リスト作成 2	各家具の下描き
第14回	家具リスト作成 3	各家具の本描き、色付け等
第15回	家具リスト作成 4	各家具の本描き、色付け等
第16回	平面図作成 1	図面表記内容の確認

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	平面図作成 2	間仕切り壁の下描き
第18回	平面図作成 3	設備、家具の下描き
第19回	平面図作成 4	設備、家具の下描き
第20回	平面図作成 5	間仕切り壁の本描き
第21回	平面図作成 6	間仕切り壁の本描き
第22回	平面図作成 7	設備、家具の本描き、寸法、文字
第23回	平面図作成 8	設備、家具の本描き、寸法、文字
第24回	模型作成(S=1/50) 1	作り方の説明
第25回	模型作成(S=1/50) 2	床の切り出し
第26回	模型作成(S=1/50) 3	外壁の切り出し
第27回	模型作成(S=1/50) 4	間仕切り壁の切り出し
第28回	模型作成(S=1/50) 5	開口部の切り出し
第29回	模型作成(S=1/50) 6	家具の切り出し①(イス・テーブル)
第30回	模型作成(S=1/50) 7	家具の切り出し②(カウンターや小物)
第31回	模型作成(S=1/50) 8	仕上げ材の貼付け等(床や壁)
第32回	模型作成(S=1/50) 9	仕上げ材の貼付け等(床や壁)
第33回	模型作成(S=1/50) 10	家具の組立て、着色等
第34回	模型作成(S=1/50) 11	間仕切り壁の組立て、着色等
第35回	模型作成(S=1/50) 12	間仕切り壁の組立て、着色等
第36回	模型作成(S=1/50) 13	家具の組立て、着色等
第37回	模型作成(S=1/50) 14	家具の組立て、着色等
第38回	模型作成(S=1/50) 15	家具の組立て、着色等
第39回	模型作成(S=1/50) 16	最終仕上げ、確認、調整
第40回	内観の写真撮影	模型写真の内観を撮影
第41回	内観の写真撮影	模型写真の内観を撮影
第42回	発表会 1	各自の作品発表(1人5分程度)、講評
第43回	発表会 2	各自の作品発表(1人5分程度)、講評
第44回	発表会 3	各自の作品発表(1人5分程度)、講評
第45回	発表会 4	各自の作品発表(1人5分程度)、講評
第46回	発表会 5	各自の作品発表(1人5分程度)、講評
第47回	発表会 6	各自の作品発表(1人5分程度)、講評
第48回	講義内容の振り返り	振り返りレポート作成